

事業番号	05 03 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	医師確保対策事業				部局	健康福祉部	課・室	医師・看護人材確保対策課	
					実施期間	S47 ～	E-mail	ishikango@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	⑦健康寿命								
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実			3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大			5-4 若者のライフデザインの希望実現		

1 現状と課題

令和2年末時点の本県の医療施設従事医師数は人口10万人当たり243.8人で、全国平均の256.6人を下回っている。

2 事業目的

医師不足や地域・診療科の偏在を解消し、身近な地域で安心して医療を受けられるようにするため、医師の確保・養成・定着を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①医師の確保（即戦力となる医師の確保）

- ・即戦力となる医師を確保するため、ドクターバンク（医師の無料職業紹介）事業を実施
- ・安定的な支援ネットワークを構築するため、地域の中核病院による医師の確保・養成や小規模病院等への診療支援（医師派遣）等の取組を支援

②医師の養成（将来の医師の確保及び医学生等のキャリア形成支援）

- ・将来の地域医療を担う医師を確保するため、県内医療機関での従事を要件とした医学生修学資金等を貸与
- ・医学生修学資金貸与者等のキャリア形成を支援するため、個別面談や研修会等を実施

③医師の定着（勤務環境の改善）

- ・医師の時間外労働上限規制の適用開始に向け、医療勤務環境改善支援センターによる医療機関への支援を実施
- ・医師の勤務環境改善に向けて、チーム医療やICT化の推進等による働き方改革に取り組む医療機関を支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	地域医療人材拠点病院支援事業による医師派遣数（延べ数）	人・日	2,968		2,868	↘	2,650	↘	2,968	未達成	地域の中核病院から医師不足が深刻な小規模病院等への診療支援（医師派遣）の状況を示す指標として設定し、R2年度の実績以上を目標値とした。
②	医学生修学資金貸与者数	人	114		116	↗	126	↗	125	達成	将来の医療提供体制の維持・確保において不可欠な存在である修学資金貸与医師数の見通しを示す指標として設定し、これまでの貸与実績を踏まえて目標値とした。
③	医療勤務環境改善支援センターによる医療機関への訪問回数（延べ数）	回	14		17	↗	86	↗	30	達成	医師の時間外労働上限規制の適用開始に向けて、増加が見込まれる医療機関からの支援ニーズへの対応を測る指標として設定し、R2年度実績の倍以上の回数を目標値とした。

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	748,053	△ 20,256	727,797		688,184	7.5
R3年度	0	1,059,641	△ 180,627	879,014		781,481	7.5
R2年度	0	698,194	79,396	777,590		741,817	7.5

事業番号	05 03 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	医師確保対策事業		部局	健康福祉部	課・室	医師・看護人材確保対策課

6 主な取組実績と成果

①医師の確保（即戦力となる医師の確保）

- ・ドクターバンク事業において、14名から求職相談があり5名が成約（再成約を含む）となった。
- ・地域医療人材拠点病院支援事業により、14の中核病院（拠点病院・準拠点病院）から小規模病院等延べ59施設に対し、延べ2,650人・日の医師派遣が行われた。

②医師の養成（将来の医師の確保及び医学生等のキャリア形成支援）

- ・将来の地域医療を担う医師を確保するため医学生126名（新規27名、継続99名）に対して医学生修学資金を貸与した。また、修学資金の貸与を受けた学生に対し、地域医療や将来の職業選択への意識の涵養を図ることを目的とした研修を5回開催した。
- ・県内の研修医確保に向け、臨床研修病院合同説明会への参加及び県内開催を合計3回実施し、延べ1,415名の医学生等が参加した。

③医師の定着（勤務環境の改善）

- ・令和6年度から適用される医師の時間外労働の上限規制に向け、医療勤務環境改善支援センターの活動として36の医療機関に対し、延べ86回の訪問支援を実施した。
- ・地域医療勤務環境改善体制整備事業により、チーム医療やICT化の推進による働き方改革に取り組む4医療機関に対して支援を行った。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	地域医療人材拠点病院支援事業による医師派遣数（延べ数）	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
一部の拠点病院の派遣医師が補助対象外（研修医等）となったことに伴い、本事業による派遣医師数が減少して目標は未達成となったが、医師少数区域以外から医師少数区域へ342人・日の医師派遣が行われるなど一定の事業効果が見られる。							
指標②	医学生修学資金貸与者数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
信州大学及び東京医科歯科大学の地域枠学生への貸与に加え、手上げ方式の貸与者の募集により、医学生修学資金貸与者数の増加を図ることができた。							
指標③	医療勤務環境改善支援センターによる医療機関への訪問回数（延べ数）	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
医師の時間外労働の上限規制に向けた医療機関のニーズの増加に対応して、医療労務管理アドバイザーの派遣等による医療機関の状況に応じた寄り添い型の支援を行い、目標を達成することができた。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・ドクターバンク事業における新規の求職者数が伸び悩んでいる。
- ・医学生修学資金貸与者は着実に増加しているが、医師の地域・診療科の偏在を踏まえ、将来の地域医療を担う医師のさらなる確保が求められている。
- ・医師の時間外労働の上限規制まで残り1年となるため、特定労務管理対象機関の指定や宿日直許可取得等に向けた医療機関からの支援ニーズが増加している。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・ドクターバンク事業を含めた医師確保対策に関する情報発信を積極的に行い、新規求職者の増加につなげる。
- ・将来の地域医療を担う医師のさらなる確保を図るため、地域枠等の増員に向けて大学との調整を進める。
- ・医師の時間外労働の上限規制に向けて、県内医療機関が適切な対応をとることができるよう、医療勤務環境改善支援センターによるプッシュ型の支援を強化する。

事業名	医師確保対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医師・看護人材確保対策課
-----	-----------------	----	-------	-----	--------------

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	医師の確保に関する事業		110,782 千円	114,680 千円	116,402 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ドクターバンク事業	直接	U・Iターンを希望する県外医師等の求職と医療機関の求人とのマッチングを行う医師無料職業紹介を実施 新規求職登録者10名、成約者5名（再成約を含む）		
2	信州医師確保総合支援センターの運営	直接	・地域医療対策協議会を開催 ・医師の確保・定着、地域医療の充実等について検討・協議 地域医療対策協議会の開催3回		
3	医師研究資金貸与事業	貸付金	県外から転任する、産科をはじめ医師不足が顕著な診療科に従事する医師に対し、研究資金を貸与 新規貸与者3名		
4	産科医療機関確保等事業	補助金	・分娩を取り扱う医療機関が限られている地域の産科医療従事者の人件費等を補助 ・産科医不足が著しい医療圏の医療機関に対し産科医の派遣に必要な費用を補助 補助事業者1者		
5	地域医療人材拠点病院支援事業	補助金	地域の中核病院による医師の確保・養成や小規模病院等への診療支援（医師派遣）に係る経費を補助 補助事業者11者・14施設、医師派遣延べ2,650人・日		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	医師の養成に関する事業		471,932 千円	464,105 千円	482,449 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	医学生修学資金貸与者等のキャリア形成支援	委託	・修学資金貸与医師の配置調整 ・医学生等のキャリア形成支援、地域医療を担う人材の開拓・育成等を実施 修学資金貸与者研修会の開催5回		
2	自治医科大学関連事業	負担金 直接	・自治医科大学の運営費を負担 ・自治医科大学支援アドバイザーによる医師配置等に関する支援 本県出身の自治医科大学在学学生17名		
3	医学生修学資金等貸与事業	貸付金	将来県内の医療機関に医師として勤務しようとする医学生や産科等を旨とする研修医に対し修学資金等を貸与 医学生修学資金貸与者126名（新規27名、継続99名）		
4	臨床研修指定病院合同説明会等事業	負担金 直接	医学生・研修医を対象とした研修指定病院合同説明会への参加及び県内開催 合同説明会への参加及び県内開催 計3回、医学生等の参加者延べ1,415名		
5	専門医等養成支援事業	直接	総合診療医に対する理解の促進や魅力発信を目的とした研修会・セミナーを開催 新型コロナウイルス感染症の影響等により実施なし		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	医師の定着に関する事業	70,740 千円	84,442 千円	89,333 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域医療勤務環境改善体制整備事業	補助金	チーム医療やICT化の推進による医師の働き方改革に取り組む医療機関を支援 補助事業者数3者・4施設	
2	女性医師総合支援事業	直接 補助金	・女性医師のキャリア形成を支援するセミナー等を開催 セミナーの開催1回	
3	医師少数区域等勤務推進事業	補助金	医師少数区域等における勤務経験の認定を受けた医師の勤務環境整備等に必要な経費を補助 補助事業者1者	
4	医療勤務環境改善支援センター運営事業	直接	医療機関の勤務環境改善に関する専門知識を有したアドバイザーによる支援等を実施 医療機関への訪問延べ86回、相談対応119件	
5	産科医等確保支援事業	補助金	産科医療機関が分娩を取り扱う医師等に支給する分娩手当等を補助 補助事業者34者・40施設	
6	タスク・シフト等推進事業	委託	医師以外の医療従事者による、タスク・シフティング等に向けた能力向上のための研修会を開催 研修会参加者565名	